

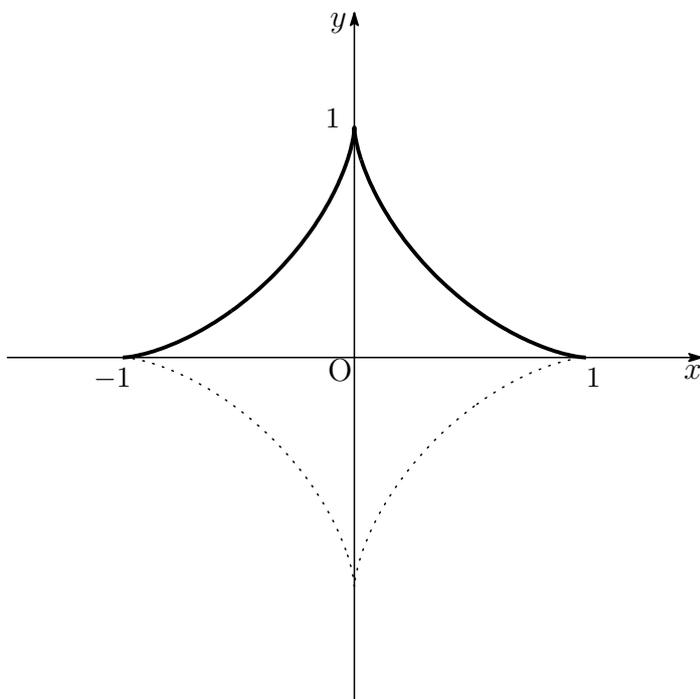
1 配点は 10 点です。問題 1-1, 問題 1-2 の類題です。

[解答] $x = \varphi(\theta) = \cos^3 \theta$, $y = \psi(\theta) = \sin^3 \theta$ はともに $[0, \pi]$ 上で C^1 級関数であるから、曲線 C は長さをもつ。その長さ $\ell(C)$ は

$$\begin{aligned}\ell(C) &= \int_0^\pi \sqrt{(\varphi'(\theta))^2 + (\psi'(\theta))^2} d\theta \\ &= \int_0^\pi \sqrt{(-3\cos^2\theta \sin\theta)^2 + (3\sin^2\theta \cos\theta)^2} d\theta \\ &= 3 \int_0^\pi \sin\theta |\cos\theta| d\theta \\ &= 3 \left(\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin\theta \cos\theta d\theta + \int_{\frac{\pi}{2}}^\pi (-\sin\theta \cos\theta) d\theta \right) \\ &= 3 \left(\left[\frac{1}{2} \sin^2\theta \right]_0^{\frac{\pi}{2}} - \left[\frac{1}{2} \sin^2\theta \right]_{\frac{\pi}{2}}^\pi \right) = \underline{3}.\end{aligned}$$

注意. 計算の途中で、平方根を外す際に絶対値を付け忘れて $3 \int_0^\pi \sin\theta \cos\theta d\theta$ とした人が多かったです (そのまま計算すると積分値は 0 になっておかしいことになりますね)。

注意. この問題の曲線 C はアステロイド (星芒形) と呼ばれる曲線の上半分 (図の太線の部分) です。



2 配点は 3 点 + 7 点です. (2) は問題 2-4 の類題ですが, ほとんど同じです.

(1) 【解答】 $\forall \varepsilon > 0, \exists N \in \mathbb{N}$ s.t. $\forall x \in A$ ($n \geq N \implies |f_n(x) - f(x)| < \varepsilon$) です. 今回は減点しませんでした, カッコは必要ですので書いてください. 記述の仕方はこれ以外にもいろいろあります.

(2) 【証明】 任意に $\varepsilon > 0$ を取る. $f(x)$ が \mathbb{R} 上で一様連続であるので,

$$\exists \delta > 0 \text{ s.t. } \forall x, y \in \mathbb{R}, (|x - y| < \delta \implies |f(x) - f(y)| < \varepsilon)$$

が成り立つ. この δ に対して, $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$ であるので,

$$\exists N \in \mathbb{N} \text{ s.t. } n \geq N \implies |a_n| < \frac{\delta}{2}$$

が成り立つ. この N に対して, 任意に $x \in \mathbb{R}$ を取ると, $n \geq N$ ならば, $|(x - 2a_n) - x| = 2|a_n| < 2 \cdot \frac{\delta}{2} = \delta$ であるから

$$|g_n(x) - f(x)| = |f(x - 2a_n) - f(x)| < \varepsilon$$

を得る. 故に, 関数列 $\{g_n(x)\}$ は $f(x)$ に \mathbb{R} 上で一様収束する. ■